様式８　　第２回黒部市立荻生小学校運営協議会記録

１　日時　　令和８年 10 月 30 日(金)　11:00～11:50
２　場所　　荻生小学校会議室
３　出席者　飯野　　勇　（荻生自治振興会長）
　　亀田　博義　（荻生公民館長）
　　髙澤　亜希子（荻生保育所所長）
　　飯村　美恵子（荻生地区ボランティア部会長）
　　松島　春男　（有識者　前荻生自治振興会長）
　　岸　　泉　（荻生小学校長）
４　内容
(1) 英会話科等授業公開（第２学年）参観、学習参観を終えての感想交流
・低学年の頃から英語に触れる機会があるのはよい。本物の英語を聴くのは大切。
・子供の興味に沿った学習内容（ハロウィン）がよかった。
・１年生の授業にスタディ・メイトが２名入っていた。きめ細かな支援ができ、「誰一人取り残さない授業」につながるのではと感じた。
・どの学年も子供が授業に参加していた。先生と子供たちのコミュニケーションがとれていると感じた。
・子供を押さえつけることをしない授業をしていた。伸び伸びと子供を育てるには必要なことなのかもしれないが、先生たちは大変だと感じた。

(3) 協議
第１・２学期の学校運営について　　校長　岸委員より説明
・学校評価は、学年が上がるごとに児童評価は高くなり、保護者評価は低くなる傾向にある。学年ごとに心の変化があるのではないかと見ている。
・学校評価は、高学年になるにつれて保護者の期待度が上がるため、評価が低くなるのではないか。
・挨拶運動はよい取組だと思う。回を重ねるごとに、挨拶のできる子供が増えている。
・「荻っ子応援団」に参加し、地域の中でも子供たちに声をかけられ嬉しく感じた。何回も学校に来る機会があり、顔が分かるようになると、子供たちも声をかけやすいのではないか。
・「防災訓練」について
　やってみるのと、しないでは大きな違いがある。やってみることが大切。
　いかに多くの人との関わりをつくるか大事。
　（地域としても）思うように進んでいない現状がある。いろいろな人や団体を巻き込んで取り組んでいきたい。
・「クラブ活動等における伝統芸能の伝承」について
　長屋の獅子舞等、子供たちが見ることで「やってみたい」と思うものがあるかもしれない。子供との関わりの中で思いを膨らませていけるとよい。

５　その他
・今年度のスキー学習会の実施日の周知と「地域指導者」確保への協力依頼
・１１月学習参観の案内

※協議会終了後、給食参観を行い、児童の給食時間の様子を参観し、試食していただいた。